

岡山東 週報


ロータリー:
変化をもたらす

国際ロータリー会長

イアン H.S. ライズリー

2017-18年度 岡山東RC 活動方針

「楽しもうロータリー、深めよう友情の輪」

岡山東RC 会長 藤井一也

会長	藤井一也	幹事	富岡正機
会長 エレクト	舟橋弘晃	副幹事	内山 淳
		S.A.A.	貝原明宏
副会長	藤岡千秋	副S.A.A.	齋藤信也


岡山東ロータリークラブ

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ

事務所 / 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 木材会館4F

TEL: 086-222-9590 FAX: 086-224-4288

http://www.okayama-higashi-rc.jp/ E-mail oke@ok6rc.jp

例会場 ●岡山プラザホテル 〒703-8256 岡山市中区浜2-3-12 TEL.086-272-1201

例会日 ●木曜日 12:30~13:30

2017.10.12 第2351例会

No.2199

▶本日のプログラム

「イニシエーション・スピーチ」

平井真也 会員

「イニシエーション・スピーチ」

宗森秀成 会員

▶10月19日のプログラム

「スポーツで地域を元気に」

岡山トヨタ自動車株式会社 代表取締役社長

梶谷俊介 様

例会報告 (10/5)
出席報告

会員数 98名(内出席免除者14名)

出席者 81名(内出席免除者出席13名)

出席率 83.35%(前々回訂正後出席率92.71%)

ビジター 1名

お食事
(ミリオンダラーミール)ポークフィレカツ
カレー, サラダ, デミコーヒー
会長挨拶・報告

皆様、こんにちは。

朝夕めっきり涼しくなりました。学校へ通う子供達の制服も合服に変わり秋の気配を感じるこの頃になりました。食欲の秋ともいいますが、秋の味覚に食欲もわいてきて、ついつい食べ過ぎてしまっていますが、ほどほどにおいしものをいただきましょう。

10月1日(日)には第1回囲碁同好会が開催され、大塚会報委員長のお子さん達も参加され、和気あいあいとした中にも真剣勝負の火花を散らしながら、楽しい1日を過ごしました。

さて、本年度もちょうど1/4が過ぎましたが、振り返ってみますとアッという間の3ヶ月だったように思います。あと9ヶ月、あっという間に過ごすのではなく、皆様と共に、本年度の会長方針である、「楽しもうロータリー、深めよう友情の輪」を深めていきたいと思っておりますので、会員皆様の温かいご協力をお願いいたします。会長挨拶とさせていただきます。

第4回理事会報告

1. 2016-17年度 決算について、承認されました。
2. 職業分類の新設について、金属加工業の小分類に「金属加工」を新設しました。
3. 新会員選挙(被推薦者2名)について、承認されましたので、会員選挙の手続きに入ります。

4. 第2回新会員歓迎会について、承認されました。11月30日(木)18時30分よりアークホテル岡山に於いて開催予定。後日、親睦活動委員会より詳細な案内をポスティング予定です。
5. 年末家族特別例会について、承認されました。
6. 企業と子育てについてのシンポジウムについて、承認されました。
7. 旭川荘クリスマスコンサート並びに座学講座について、承認されました。
8. タスキ(追加)購入について、承認されました。

幹事報告

1. 本日18時30分より、第2回 I.D.M. をアークホテル岡山に於いて開催いたします。出席予定の方はよろしくお願ひいたします。
2. 総社ロータリークラブより、「2016-17年度 年報」が届いております。他クラブの週報とともに回覧いたします。

委員会報告

●職業奉仕委員会 池田博昭 副委員長

本日ポスティングしております、視察研修のご案内をさせていただきます。先週のご案内に引き続きまして、企業並びに事業所等における女性の労働力強化といった見地から企業内保育の様々な形態の視察研修第2弾といたしまして岡山県内で最も早く企業内保育に取り組まれた企業を視察します。視察先は片山工業株式会社様でございます。また片山工業様におかれましては来年2月に予定しております、社会奉仕委員会との合同開催のシンポジウムのパネリスト登壇企業です。日程のほうは2017年11月9日(木)の午後1時45分から午後6時を片山工業様のところにご訪問ということでさせていただきます。貸し切りバスで大勢の皆様で視察研修へ行きたいと思っておりますのでふるってのご参加よろしくお願ひいたします。

●ロータリー財団委員会 諸國眞太郎 委員長

例年11月がロータリー財団月間になってございます。それに備えて今年度の皆様へのご寄附のお願いにあがるのを来週からさせていただきたいと思っておりますので、皆様、よろしくご協力のほど、お願ひします。またロータリーカードをご希望の方はその時にご案内させていただきますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思います。

米山記念奨学金の授与

米山記念奨学生のイム ヒョン ソップさんに藤井会長より10月の奨学金が授与され、イムさんからお礼のご挨拶がありました。

お祝い行事

会員誕生日 渡辺(学), 坪井, 白髭, 三好, 井上(和), 富岡, 山下(和), 寺坂, 村松, 石井, 宗森, 和氣

会員夫人誕生日 齋藤(信), 西本, 宮本, 赤松, 齊藤(良), 福原, 糸島, 横手, 渡邊(修), 岡崎, 吉野, 白髭, 大橋, 富谷, 土岩

結婚記念日 齊藤(博), 白髭, 大塚, 岡崎, 赤松, 渡辺(学), 安藤, 富谷, 勸藤, 井上(英)

SAA

●スマイル●

藤井 日曜日に囲碁同好会に参加しました。和気あいあい楽しい一日を過ごしました。ありがとうございます。あつという間の3ヶ月がたちました。後9ヶ月頑張りますのでよろしくお願ひします。

横山 一昨日3日・4日、湯原温泉「米屋」にお世話になりました。池田君のご配慮で初物の「まつたけ」までご馳走になり、大変恐縮いたしました。

齊藤(博) 皆さんにお話するほどのことではありませんが、とってもいいことがあったのでスマイルさせていただきます。

- 舟橋 先週末に小豆島一周サイクリング大会に学生と参加して何とか90数キロを完走できました。坂道の連続で体力の低下を実感したので鍛えます。また、遅くなりましたが大阪への親睦旅行では女房共々大変お世話になりました。
- 藤岡 先日開催の囲碁同好会に参加し、生まれて初めての囲碁らしいものを経験しました。今回は勝敗にかかわる対局をしたいと思っております。
- 富岡 本年度、既に四半期が過ぎました。4大奉仕では、浮田国際奉仕委員会がサンノゼにてジュニアオーケストラ支援事業を行い、また小橋青少年奉仕委員会が園児による備前焼体験事業をPart1からPart2へ進行中であり、大西職業奉仕委員会、渡邊社会奉仕委員会も、いよいよ動き出します。各委員長とも水面下での段取りに余念がありません。乞うご期待!!
- 内山(淳) S.A.A.に協力します。
- 大塚 先日の囲碁同好会、子供3人と参加しました。北村囲碁同好会会長をはじめ、会員の皆様には大変お世話になりました。おかげさまで長女が2位。とても楽しかったです。ありがとうございます。ちなみに子供たちに、誰との対局が面白かったときいたところ、なぜか全員、弘中会員と答えました。さすが、弘中会員。女性だけでなく子供のハートもがちりキャッチしちゃうんですね。
- 仁科 ①親睦旅行、楽しませていただきました。②囲碁同好会3位になりました。子供さん(大塚会員)の進歩にはついていけません。
- 富山 本日は、米山月間のスピーチをさせていただきます。よろしく願いいたします。
- 北村 先日、今年度第一回目の囲碁同好会を催しました。大塚会員のご家族3人も参加していただき、盛況裏に開催でき、又、久しぶりに優勝しました。
- 高藤 第72回国民体育大会愛媛国体クレール射撃競技で岡山が2位になりました。ありがとうございます。
- 横手 更井様、先日は楽しい一日をありがとうございました。
- 日名 高藤さんありがとうございました。激安でみんな大喜びでした。
- 石原 ①9月はほとんど出席できずすみませんでした。②妻の誕生日のお祝いありがとうございました。③宮本さんお世話になりました。
- 宮本 ①奥さんのすい臓の手術が成功しました。今日退院です。感謝感謝。②組合の教育センターがオープンしました。テレビでニュースに取り上げられました。
- 辻 本日は初めての副S.A.A.の見習いです。初体験で年甲斐もなくドキドキしています。
- 福原 結婚記念日のお祝いありがとうございました。家族みんな喜んでくれました。私は箱しか見ておりませんが…。本日は所用がありI.D.M.欠席すみません。
- 中井 昨夜は中秋の名月でしたが、頭の中は明日の証人尋問と今日のイニシエーション・スピーチで一杯でした。本日はイニシエーション・スピーチをさせていただきます。よろしく願いします。
- 寺坂 いよいよ60の大台を迎えました。皆さんに祝っていただき感謝申し上げます。
- 貝原 毎週木曜日はスマイル発表があるので前日は飲み過ぎないように気を付けているのですが、昨晩は日本酒が効いたみたいで二日酔いになってしまいました。案の定、今日はろれつが回リません。ごめんなさい。それから辻先生、今日はありがとうございました。

21件 102,000円

10月5日のプログラム

「米山月間にちなんで」

富山直司 米山記念奨学会委員長

まず最初に、本年8月より米山記念奨学会の特別寄付をお願いさせていただいており、本年も皆様には多大なるご協力をいただき誠にありがとうございます。この場をお借りして、お礼申し上げます。

さて、毎年10月は米山月間と言うことで、お時間をいただき、米山月間にちなんでと言う内容で、米山記念奨学会についてお話をさせていただければと思います。よろしく願いいたします。

公益社団法人ロータリー米山記念奨学会は、日本全国のロータリークラブが協同で運営する奨学財団です。米山記念奨学事業は、国際ロータリーとは関係なく、日本独自の事業となっています。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業を行っています。なぜ、外国人留学生支援なのかと言うことですが、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援するとともに、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したいという設立当時のロータリアンたちの強い願いがあったようです。また、米山記念奨学事業は、世界の平和を願って、今後日本の生きる道は、平和、それをアジアに、そして世界に理解してもらう為には、多くの留学生を迎え入れ、平和を求める日本人と出会い、信頼関係を築くこと、それが日本のロータリーにとってもっともふさわしい国際奉仕事業であり、国際親善と世界平和の事業につながると考えたことも、その理由の一つであったようです。



1. ロータリー米山記念奨学会の歴史について

米山記念奨学会は、日本における最初のロータリークラブを作った米山梅吉氏の名をつけたと言うことであり、米山梅吉氏がはじめたわけではないということです。今回、卓話をするに当たり、勉強させていただいて知りました。

米山奨学事業は、日本最初のロータリークラブの創立に貢献した実業家米山梅吉の功績を記念して発足しました。

ロータリー豆辞典の3ページ、4ページをお開きください。

米山梅吉氏が亡くなられたのは1946年であり、東京ロータリークラブが1952年(昭和27年)に奨学事業の構想を立案し、米山氏の名称を冠して基金を作り、1953年から寄付を募りはじめました。その後、この構想は瞬く間に全国へ広がり、1957年には財団法人化を前提とした全国組織「ロータリー米山奨学委員会」が結成されました。そして、その10年後の1967年には財団法人となり、以来50年、日本のロータリアンと学友たちが、その思いをつないでいます。今年はちょうど50周年に当たります。東京で来年2月4日に記念式典が開催されます。

2. ロータリー米山記念奨学会の目的について

ロータリー米山記念奨学会は、将来母国と日本との架け橋となって、国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学することを目的としています。優秀とは、「(1)学業」に対する熱意や優秀性はもちろんのこと、「(2)異文化理解、(3)コミュニケーション能力」への意欲や能力に優れていることを含まれます。

ロータリー米山記念奨学生は、ロータリークラブを通して日本の文化、習慣などに触れ、社会参加と社会貢献の意識を育て、将来ロータリーの理想とするロータリー国際平和の創造と維持に貢献することとなることが期待されています。

3. 世話クラブ制度とカウンセラー制度

3ページの年表にもあるとおり、1959年には、世話クラブ制度が設置され、1971年にカウンセラーの制度が始まり、奨学生の精神的ささえとなるように成りました。

その制度の内容については6ページに紹介されていますので、6ページを開けてください。

奨学生は、日本での生活に慣れていない方が多くおられるため、奨学生一人ひとりに地域のロータリークラブが世話クラブとなり、世話クラブの会員がカウンセラーとなって、日常の相談役をつとめます。

岡山東ロータリークラブが、イム・ヒョン・ソップ君の世話クラブであり、当クラブの黒住陽一会員がカウンセラーとなっています。

奨学生は、世話クラブの例会や奉仕活動に参加し、実業人・専門職業人であるロータリアンとの交流を通じて、ロータリーが求める平和の心、奉仕の心を学びます。従って、米山奨学生には、奨学金を受け取るだけでなく、交流を大切にす姿勢が求められます。

4. 事業規模について

6ページの下半分に記載されています。

事業規模の大きさについては、2016-17年度の事業収入は約13億円となっています。また、2017年度の奨学生数は793人、2690地区は本年度は27名となっております。来年度は23名となる予定です。これまで

に支援した奨学生数は、累計で19,808人となっています。その出身国は125の国と地域に及びます。

国や地域は、15ページに記載があります。

2017年度は、中国が一番多く、次いでベトナム、韓国、台湾、モンゴルの順になっています。この比率についても、16ページの高等教育機関における国地域別留学生の数に概ね比例しているようです。

奨学生の数ですが、以前は中国や韓国に比重を置いていたようですが、その比率を徐々に減らし、より様々な国と地域の方に利用してもらうように奨学生を決定する際には考慮されているようです。

5. 普通寄付と特別寄付

9ページ、10ページを開けてください。

ロータリ記念奨学会の運営費は皆様の寄付によって運営されています。寄付には二種類有り、普通寄付金と特別寄付金です。

普通寄付金は、クラブから定期的に行っています。これは、半期ごとに皆様からお預かりしております会費に含まれております。

特別寄付は、先般皆様にご協力いただきました寄付金がこれに該当いたします。特別寄付金が累計で3万円になると準米山功労者となり、10万円になると第1回米山功労者となり、感謝状が贈られます。

先ほど、2017年度が27人で来年度が23人の予定と言いましたが、特別寄付の金額により、採用数及び各地区の奨学生の人数が変動する仕組みとなっています。

6. 米山奨学生と学友会

19ページを見てください。

学友会とは、米山学友(元奨学生)と現役の奨学生によって組織される会です。現在日本に33、海外に9の合計42学友会があります。学友会は、奨学期間終了後もロータリーと絆を結び、学友同士の友情を深める役割を果たしています。また、ロータリーに感銘を受け、ロータリアンになった学友も多数おられます。

9月10日に、米山記念奨学会委員長の研修会があり、その後、学友の方たちとの懇親会があり、多数の方が出席されておられました。

来られていた学友の方たちは、皆様ロータリーの奨学金に感謝しており、日本に何か恩返しをしたいと思って、仕事や奉仕に打ち込まれているようでした。

貴重なお時間をいただきありがとうございました。

以上で、私の卓話を終わらせていただきます。ご静聴ありがとうございました。

10月5日のプログラム

「イニシエーション・スピーチ」

中井拓司 会員

本年5月に齊藤博臣パスト会長と舟橋弘晃会長エレクトにご推薦いただき入会させていただきました中井拓司です。本日は貴重な時間をいただきありがとうございます。

私の生まれは、香川県三豊市仁尾町です。香川県の西の半島の付け根にある小さな町で、山と海に囲まれ電車も通らない陸の孤島です。観音寺第一高校に通い、岡山に18歳のとき上陸して岡山大学法学部に入学しました。岡山に居つき今年で14年が経ちます。

趣味は少林寺拳法で現在四段です。大学では少林寺拳法部の巨漢の先輩に捕まって入部しましたが、この入部がなければ私はスポンサー両名とお会いすることはなく、当クラブに入会させていただくこともありませんでした。私にとって少林寺拳法は人との縁を繋ぐものでもあります。

仕事は弁護士です。私は反骨精神や独立心が強いところがありました。それが、大学の部活などで成功体験を重ねた末、本気になれば叶わない夢はないと調子に乗るようになりました。また大学時代、私の周りで亡くなられた方が多く、悔いなく生きたいと思っていました。それらが重なり私は法曹を目指す修羅の道に進みました。長く苦労しましたが、司法試験合格の瞬間は喜びで拳を突き上げました。

弁護士の職務内容をご存知のとおりで、私も法律問題全般を取り扱っておりますが、現在在籍している



弁護士法人南方法律事務所は企業様からの依頼が多く、企業関係の事件を多数取り扱っています。他にも相続、交通事故、債務整理、離婚、刑事、労働、損害賠償等々多様な法律問題に携わってきました。難事件も不撓不屈の精神で乗り越えてきました。どのような事件でも依頼者様のために最善を尽くして戦うことを念頭に仕事をさせていただいております。

最後になりましたが、岡山東ロータリークラブの一員として立派なロータリアンとなるべく精進してまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

第1回指名委員会 (10/5)

日時：2017年10月5日(木)11:00～

場所：岡山プラザホテル 4F「烏城の間(南)」

出席者：藤井・石井・荒川・齊藤(博)・舟橋・藤岡・貝原・近藤(典)・糸島・和氣・三垣・大澤・大塚・大西・渡邊(修)・浮田・諸國・小橋・佐藤・富岡・内山(淳)

欠席者：齋藤(信)

上記により指名委員会が開催され2019-20年度会長(2018-19年度会長エレクト)の指名について話し合われました。



藤井会長 挨拶



第2回 I.D.M. (10/5)

10月5日(木)18時30分より、第2回 I.D.M. がアークホテル岡山「あくら」にて、近年最多の30名が参加して開催されました。

今回の I.D.M. は、藤井会長、齊藤ロータリー情報委員長ほかの役員、主として3委員会(職業分類・会員選考・親睦活動)の構成メンバーが出席、齊藤ロータリー情報委員長より、I.D.M.の目的、特に今回の構成はベテラン会員とフレッシュ会員が一緒になっており、お互いを知る良い機会なので有意義にしてくださいと講話がありました。

その後、最年長の若林会員の乾杯で開宴となり、美味しい酒と松茸の土瓶蒸しなど季節の料理をいただきながら、友情の輪を深めることが出来ました。

終始和やかな雰囲気の中で、最年少32歳の中井会員が閉会の挨拶を行って、中締めとなりました。



[文章提供：内山淳 副幹事、若林宣夫 会員・写真提供：富岡正機 幹事]